

令和元年第2回定例会一般質問通告事項

6 月 20 日 午 後	岡野長寿議員（日本共産党）	質問方式：一問一答方式
	<p>1 国民健康保険料について</p> <p>(1) 均等割り、平等割を廃止すると、尾道市の国保料はどのようになるか、どのように引き下げることができるか（数値で）</p> <p>(2) このように他の医療保険並みに引き下げることができた場合、滞納者の減少、子育て家庭への支援、貧困対策、市内経済への好影響などいくつかの効果が想定されるが、市長として、どのような効果が現れると想定されるか</p> <p>(3) 今年の国保料はどうか。現状は維持できるか。それとも、引き上げになるか、引き下げになるか</p> <p>(4) また、県単位化の下、今後保険料が引き上げになるような時には、どういう姿勢で臨むか</p> <p>(5) 国や県が対策をとらない場合、市が独自に政策的な財源措置を行い、協会けんぽの保険料なみの負担に近づくよう制度改善すべきではないか</p> <p>2 公共交通政策について</p> <p>(1) 平谷市長には、渋滞によって、社会的損失が生じているのは、尾道市がやるべきことをやっていないからだという認識がありますか</p> <p>(2) しまなみ海道通行料金軽減のため市民を対象に市独自の軽減策を実施する考えはないか伺います</p> <p>(3) 尾道大橋の渋滞緩和策として、尾道大橋より東側にフェリー航路を開設し、う回路として機能させる考えはありませんか</p> <p>(4) 因島から市民病院へのバス路線を開設する考えはないか</p> <p>(5) 島嶼部から尾道中心部へ通学する高校生や大学生に、通学補助を実施する考えはないか</p> <p>3 中学校給食の改善について</p> <p>(1) 浦崎中学校でデリバリー給食をやめて、親子方式で中学校給食を実施する計画について、保護者の受けとめはどうか</p> <p>(2) 他の中学校でも親子方式が可能なところは、実施するよう計画を立てる考えはないか</p> <p>(3) 親子方式実施が困難な中学校はあるか。あるなら、給食センター方式への転換をはかるよう計画すべきではないか</p>	